

科目番号	59005	分類	専門科目 地域環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年											
科目名	環境保健学 ( Environmental Health Sciences )					1											
						配当セスター											
						通年											
担当者	○今井 秀樹・小宇田 智子			区分	選択	単位	2	時間数	30								
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連											
<p>【概要】</p> <p>地域規模から地球規模の環境問題まで様々な現象とヒト集団の健康像との関わりについて、最新のデータを踏まえながら文献から知識を吸収し、合わせて研究態度をも身に付ける。</p> <p>ヒト集団の環境への適応について、ヒトの生物学的基盤の知識をもとにして生物学的適応と文化的適応の2つの側面から理解する。また人口再生産のメカニズムと人口変動について「環境」と「健康」の関わり合いの結果として捉えながら学ぶ。また、ヒト集団の健康像に影響を与える環境側の要因を「生物的要因」、「物理的要因」および「化学的要因」の3つに分類し、それぞれの要因と健康の関わり合いについて自ら英語文献を選択して抄読会で発表する。</p>						○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実証的研究教育能力		4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力		6. 実践を行なからず学生の臨床実習を指導できる能力
授 業 計 画																	
回	内 容								担当教員								
第1回	生態系と人類の特性								今井								
第2回	環境と生存様式の多様化								今井								
第3回	生業、社会および健康の関わり合い								今井								
第4~15回	抄読会 ①文献抄読 ・ 人類生態学 ・ 環境保健学 ・ 環境化学 に関する文献 ②15分レクチャー 特定の課題について15分間でプレゼンテーションし、ディスカッションを行う								今井 小宇田								
事前・事後学習	事前学習として英語文献を検索し、発表資料を作成する。(2時間) 事後学習として他の学生の発表した英語文献・発表資料を熟読し、内容の理解を含める。(1時間)																
評価の方法	抄読会への出席状況および文献抄読および15分レクチャーの内容・プレゼンテーションにより評価する。 フィードバックは適宜行う。																
参考図書 ・ 資料等	授業の都度、必要な資料を配布する。																
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。																